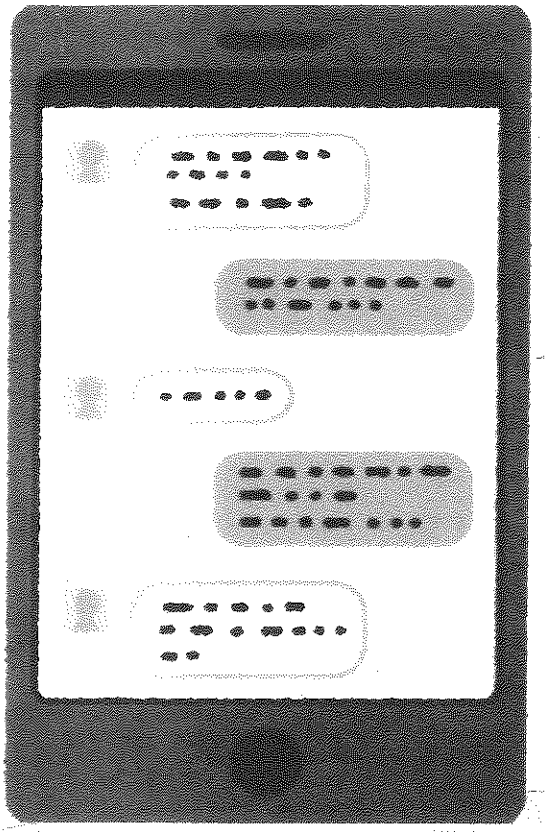
東伊豆町公式LINEアカウント

はじめました！！



くらしや防災情報など、お役立ち情報を配信していきますので、ぜひ「友だち登録」をお願いします！！

アカウント名：東伊豆町

アカウントID：@higashiizu

【お知らせ】
今後、町からの通知は情報配信メールからLINEへ移行していきますので、「友だち登録」をお願いします。

『友だち登録』の方法

① LINEアプリを起動
② 友だち追加画面の「QRコード」を選択し、以下のコードを読み取る
③ 「追加」を選択する

【友だち登録用QRコード】

※アカウント名またはIDをホーム画面で検索しても、友だち登録できます。

受け取れる情報

○町政情報、くらしのお役立ち情報、イベント情報、防災情報などを受けとる事ができます。
○画面下部のメニューから、町ホームページなどの各種サービスにアクセスできて便利です。
○東伊豆町情報配信メールの配信内容も受けとることができます。
○「受信設定」から、受け取りたい情報の選択ができます。

【お問い合わせ】東伊豆町役場企画調整課地域振興係 ／ 電話：0557−95−6202

東伊豆町×株式会社ジチタイアド 官民連携

家族や隣人に迷惑がかかる前に
空き家問題をスッキリさせませんか？

放置したままだと税額上昇や賠償金が発生する可能性があります

空き家へのお悩みは人によってさまざま・・・

- 相続登記が済んでいない
- 遠方に住んでいて管理が大変
- 0円で良いので早く手放したい
- 使う予定がなく解体したい
- 手放す前に遺品整理が必要
- 売れるのかわからない

akisolでは、あなた専任の空き家アドバイザーがお悩みを解決までサポートします

akisol
空き家のお悩みを解決する総合サービス

無料相談

0120-772-135

株式会社ジチタイアド akisolカスタマーサポート
平日 9時～18時
https://akisol.jp

空き家問題解決までの流れ

①無料相談

まずはお電話、メール、フォームのいずれかでご相談ください。

☎0120-772-135

✉akisol@zaigenkakuho.com

→

②お悩みを明確化

「遠方で管理ができない」
「手放す前に遺品整理を」
など…
空き家へのお悩みは人によってさまざま。①のヒアリング内容を基に所有者の悩みを明確化します。

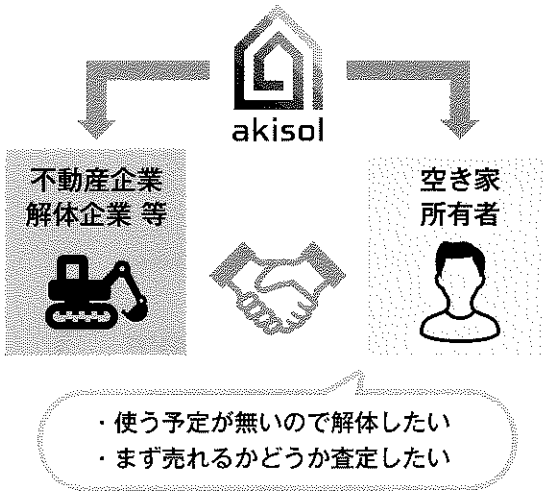
→

③解決方法の提示

「手放したくないなら管理を委託しましょう」
「まずは売れるか査定してもらいましょう」
など
①②の情報を基に具体的な解決方法を提示します。

④解決策の実行に必要な情報のご提供

例1：企業のご紹介



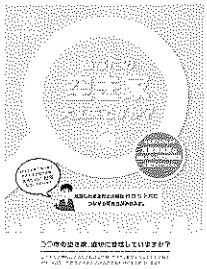
・使う予定が無いので解体したい
・まず売れるかどうか査定したい

例2：空き家が欲しい人へ0円で譲渡

・家を一軒まるごとDIYしてみたい
・セカンドハウスを安く手に入れたい

※在宅勤務の普及やワーケーションなどで地方の家屋ニーズが増加しています。

akisolの強み



2015年以来、全国約360※の自治体と「空き家情報冊子」を協働発行してきました

当社グループの作成する「空き家情報冊子」は企業の協賛広告によって経費削減を支援し、自治体へ無償で納品されています。2015年以来からお付き合いのある広告主とのリレーションを活用し、所有者に最適な企業をご紹介します。

※2015年12月～2021年9月末迄累計（発行予定を含む）

空き家に関するご相談ならなんでもご連絡ください

0120-772-135

相談窓口：株式会社ジチタイアド akisolカスタマーサポート
受付時間：平日9時～18時　**https://akisol.jp**

akisol　あなたの空き家問題解決に真摯に向き合います。

会社名　株式会社ジチタイアド
代表　代表取締役社長　時津孝康
事業内容　自治体の財源確保・コスト削減を目的とする広告事業
株式会社ジチタイアドは株式会社ホープのグループ会社です。

令和4年度　東伊豆町　育英奨学金貸与者を募集します

令和４年４月　　東伊豆町 教育委員会

東伊豆町では、育英奨学金貸与者を次のとおり募集します。
希望される方は、内容等をご確認の上、お申込みください。

○　対象者

東伊豆町に住所を有する者又は住所を有する者の子弟であって、学校教育法に規定する高等学校、高等専門学校、短期大学、大学又は専修学校に在学し、在学校の長又は入学前の在学校の長が推薦する者で、心身健全、成績優良で学資の支弁が困難と認められる者。

※他の奨学金の貸与及び東伊豆町教育資金利子補給制度を利用している方は応募できません。

○　募集数

若干名

○　奨学金貸与額

区　　分	貸　与　額　　（円）	
	入学一時金 （限度額）	奨　学　金 （月額）
・大学 ・専修学校の専門課程	５００，０００	３０，０００
・高等学校 ・専修学校の高等課程 ・高等専門学校 ・短期大学	２００，０００	２０，０００

○　受付期間

受付締切りは令和４年５月６日（金）午後５時まで
受付時間は、午前８時３０分から午後５時１５分までです。

○　受付方法

下記の書類を東伊豆町教育委員会学校教育係まで提出してください。
申込書類は教育委員会または東伊豆町のホームページにあります。

・奨学生願書（様式第１号）
・奨学生推薦調書（様式第２号）
・健康診断書
・住民票謄本（家族全員のもの）

○　その他

採用者には決定通知書を送付します。
奨学金返還は学校卒業後、１年を経過後からとなります。

＜問い合わせ先＞東伊豆町役場　教育委員会事務局　学校教育係
電話　0557-95-6207　〒413-0411　静岡県賀茂郡東伊豆町稲取 3354

スポーツ推進委員事業

ミニテニス＆ストレッチ参加者募集

初心者大歓迎！！

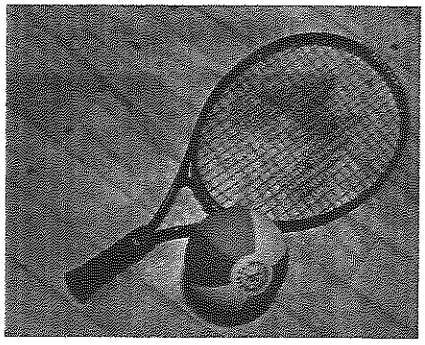
ミニテニスは、通常のテニスよりも短いラケットと、ビニール製の大きなボールを使用して行います。子供から大人まで幅広い年代で楽しむことができ、初心者でも簡単にボールを打つことができます。ミニテニスが終わった後は、ストレッチをして体をほぐします。

運動不足の解消や健康増進、友人や仲間との親睦を深めるために参加してみませんか？

※体育館シューズをご持参ください。ラケットやボールは教育委員会事務局で用意します。
※参加費は無料です。
※健康マイレージ対象事業です。

令和４年度　開催日程　※１９時００分開始

日　付	場　所
５月２６日（木）	町立体育センター
６月２３日（木）	
７月　７日（木）	
８月２５日（木）	
９月２９日（木）	
１０月１３日（木）	



※事前申し込みは不要です。そのまま開催場所にお越しください。

【連絡先】
東伊豆町教育委員会事務局社会教育係
電　話　９５－６２０６

スポーツ推進委員事業

グラウンドゴルフ参加者募集

初心者大歓迎！！

子供から高齢者まで初めてでも簡単にできるのでみんなで楽しめます。運動不足解消や健康増進のため、友人や仲間との交流を深めるために参加してみませんか？

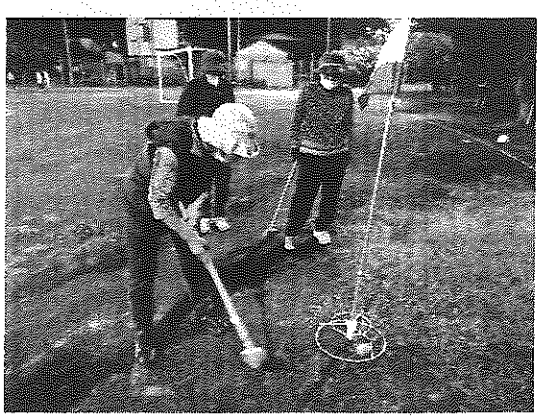
※道具は必要ありません。教育委員会事務局で用意します。
※スコアはスポーツ推進委員が付けます。
※参加費は無料です。
※健康マイレージ対象事業です。

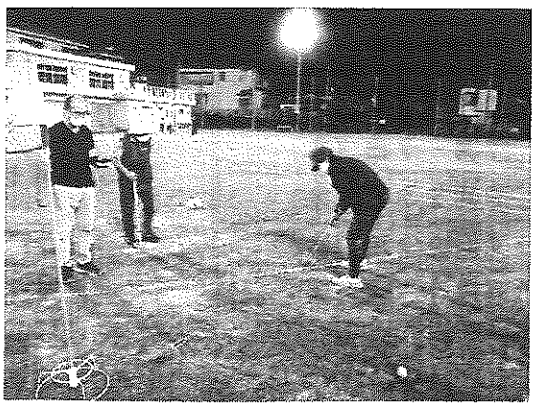
令和４年度　開催日程　※１９時３０分開始

日　付	場　所
５月１２日（木）	稲取小学校グラウンド
６月　９日（木）	
７月２１日（木）	野球場
８月１０日（水）	
９月　８日（木）	稲取小学校グラウンド
１０月２７日（木）	

※事前申し込みは不要です。そのまま開催場所にお越しください。

＜昨年度の様子＞





【連絡先】
東伊豆町教育委員会事務局社会教育係
電　話　９５－６２０６

あなたのまちのコミュニティ活動情報誌

コミュニティしずおか

2022 4月 No.166

市内の落書き箇所を事前調査し消去活動をしている

自分たちの想いや夢、活動を実現する為にクラウドファンディングに挑戦

熱海コミカレ・ねっとわーく（熱海市）

▼今年で満29年を迎える熱海コミねっとは、長年熱海市内の落書き被害調査や消去活動を続けている。この度、橋本代表の発案で活動資金を募るためクラウドファンディングに挑戦した。地元のボランティア活動がプロジェクトとして馴染むのか不安もあったが、大きな初期費用が掛かるわけでもないので、大胆にも30万円の資金調達額を目標に掲げると、多くの方から温かいご支援を賜り192,500円の資金が集まった。
▼コロナ禍により活動が中止になっているが、寄付をしてくれた方と一緒に落書き消去活動が出来る事を楽しみにしている。
◇代表：橋本一実さん（問合せ・0557-81-7755）　【情報提供・大熊タイ子】

Topics

地域訪問記 …… P2・P3
二社厳冬海中みそぎ祭り保存会（沼津市）
地域訪問記 …… P6
美しい富士山を麓から守る（富士市）

コミック のりづき・りえ

「いやさか」の掛け声で神輿を高く上げる。例年は2基のお神輿が出るが、コロナ禍の為昨年に引き続き1基でご神事を行った

男が男をみがく祭りを復活！
厳冬海中みそぎ祭り

沼津市

二社厳冬海中みそぎ祭り保存会

沼津の「お宝100選」にもなっている伝統行事「厳冬海中みそぎ祭り」。牛臥山公園・小浜海岸で、毎年成人の日前後に行われる正月一番のお祭りです。三島大社に並ぶ格式の古社である楊原神社・大朝神社の例大祭ご神事でしたが、空襲による社殿や神輿の消失により途絶えてしまった時期があります。2001年に祭りは復活。祭りの再興にあたり、火付け役となった保存会の事務局原田武虎さんにお話を伺いました。

みそぎ祭りを再び

県外から沼津の地に移り住み沼津港でお店を設けた原田さんは、古い神社仏閣・歴史が好きなことから、地域に冬の例大祭があることを知っていましたが途絶えていたことは知りませんでした。

老人会の会長との話をきっかけに宮司を紹介され、元来の祭り好きもあったことから早速復活に向けて計画。氏子総代や地域の古老に話を聞きに行き、新聞社を呼びPR活動を進め、半世紀ぶりとなる祭りが復活しました。

お叱りを受け今がある

無事終了。のはずでしたが、氏子総代の方々は承知していたものの、各自治会にはちゃんと伝わっていなかったことからお叱りを受けました。もちろん復活を喜んでくれた方もいましたが「叱っていただいたから、出会いがあり、続けてこられた」と原田さん。頭を下げに回る中でちゃんと保存会を立ち上げ、地域の方の協力を得て、地域と共に再興していこうと決めたそうです。

神男（かみお）は男の心を変える

毎年神輿を担ぐ「神男」は募集をかけ、厄年又は年男、新成人を優先に選びます。また、Facebookを見たお祭り男たちからの神男希望も受け入れています。記念に目立ちたい等の軽い気持ちで参加する人もいますが、神輿を担ぎ町に出ると多くの注目を浴び、拝まれながら見送られ、そして冷たい海に入り神の禊ぎを受けと、終わった時の清々しさと沿道の歓声から湧き上がる神男の使命感。今までになかった自分を発見できるようです。

祭り継続のために

保存会では保存継承のために、他地域の祭りの良い所を勉強し、5年前から稚児行列を新たに設け、世代ごと祭りに参加できる仕組み「稚児行列→子ども神輿→本神輿」を作りました。地域住民が参加しやすい仕組みを作り、次世代を巻き込むことは、コミュニティ活動の軸であり努力しなければならない課題であります。子どものころ憧れた本神輿を大人になったら担げるストーリー戦略はすばらしいと思いました。

「神男」の皆さん。21回目となる今年は2人の新成人が参加

コロナの為
餅まきならぬ
餅渡しに変更

神社に飾るしめ縄を作る氏子総代の皆さん

コロナ禍で

コロナ禍を理由に活動が中止になる中、みそぎ祭りは原田さんという自称“祭り馬鹿”がいるからコロナ禍でも誰も止められない。やれやれと思いながら協力する人もいるかもしれません。でも活動を続けるにはそんな人も必要なのかと思います。原田さんの話しは勢いがあり、自分の思いを貫く強さも感じました。それは冷たい海に何度も入った男の強さなのか…。

我が息子に聞いてみた「神男になって海に入る？」

「無理!!」

「海に入って男になれ!!」

母は心の中で強く叫んだ。

◇会長：岩崎英亮さん
（問合せ・080-5297-0845（事務局　原田さん））
【情報提供・田邉高典】

レポート　市川賴子 編集委員

まちからむらから

松崎町　河津桜から広がる地域貢献活動

河津桜ボランティアセンター

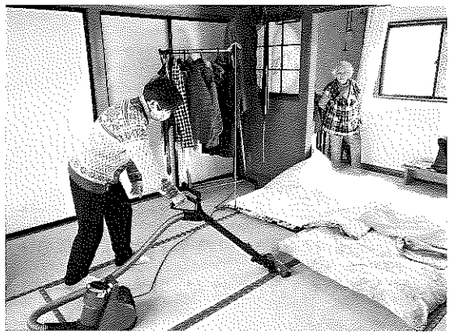
▼日本で有数の桜まつり「河津桜まつり」で、来場者の対応や混雑状況の発信などを行っている河津桜ボランティアセンター。お祭りのスタッフの一員として従事していた玉木代表が、車いす等で来場される方への快適性を高めようと平成27年に有志が集まり活動を始めた。
▼災害ボランティア活動をしていた代表の繋がりで、40代の多才な会員10人が市町を越えて集まり、幅広い内容と場所で活動を行っているのが特徴。秋から春にかけて桜まつりの準備を進め、それ以外の時期も集まった力を地域に活かそうと、ごみ拾いや防犯パトロール等を行う。また、会員の防災や福祉に関する知識、ネットワークを活かして、熱海市伊豆山での土石流災害被災者支援や新型コロナウイルス感染者支援にも力を入れている。
▼感染者支援にあたっては、プライバシーに配慮し、感染防止のために相対せず行っている。そのため支援を受けた人から直接反応を得る機会は少ないが、公的機関等に相談、依頼しにくいことを手助けしてくれる細やかな活動に感謝する声は多く、活動の励みになっている。

Twitterで鮮度の高い情報を発信している

◇代表：玉木優吾さん
（問合せ・090-9902-9209）
【情報提供・冨川あおい】

函南町　町社協から羽ばたき自主運営に挑戦

暮らしの応援隊



依頼の多い室内清掃

▼令和２年、山間に位置し高齢化が進むダイヤランド地区に、ご近所の困りごとを共に解決、軽減する生活支援の応援隊が発足した。現在、男性6人女性5人の隊員が、主にゴミ出しや室内清掃、草取り、薬の受け取りだが、衣類の処分や電子レンジの設置等、痒い所に手が届くような依頼にも応えている。
▼当初は、町社協の下での活動だったが「自主運営の方が地域にあった活動ができるのではないか？」と独立の準備をしている最中に、隊員が運転ボランティアの講習を受けたことから、自分たちでも移動支援が出来る事がわかり、まずはやってみようとこの4月開始を目指している。財源は、さわやか財団から支援をいただき、車は隊員の車４台を使用する。
▼「依頼を積み重ねると、利用者との間に信頼が生まれていくのが嬉しい」と郷代表。目下の課題は仲間を増やすことである。
住民同士が「お互いさま」という気持を行動に表わし、支えあいに繋げて快適な暮らしを目指していく。
◇代表：郷　千恵子さん　（問合せ・070-7584-2022）　【情報提供・虎尾恵美】

裾野市　空き家活用の新しい事例

シェアプレイス susono towa

畳イスを製作する学生たち

▼裾野市岩波駅近くの「シェアプレイス　susono　towa」は、空き家対策と空き家を活用できる人材の育成を目的とし、地域に開かれた運営をしている。現在、焙煎珈琲販売店と文具雑貨店等が入居し、ワークショップや地域密着イベントを企画している。
▼令和２年、築50年の空き家を活用できる状態にするため、関東の建築学生団体「ｗＡＣＫＡ」がリノベーションを着工。メンテナンスを含めた工事を今後も継続することで、建築学生たちも世代交代しながら地域と関わり続けるというユニークな仕組みになっている。昨年１０月には、学生たちが施設内に置く棚の組み立てとペイントのイベントを主催し、イベント報告を回覧板で回した。
▼文具雑貨店オーナーの加藤さんがコミュニティマネージャーとして、地域との交流を活発化させている。年初から始まった「いわなみマーケット」は地域の子ども連れがたくさん集まった。今後定期的に開催し、地域との絆を深めていく予定。※次回5/15第２回いわなみマーケット開催します！
◇コミュニティマネージャー：加藤照美さん　（問合せ・tekutekuanyo@gmail.com）　【情報提供・志田忠弘】

菊川市　菊川で楽しめる気軽なカルチャー講座

キクルデツクル

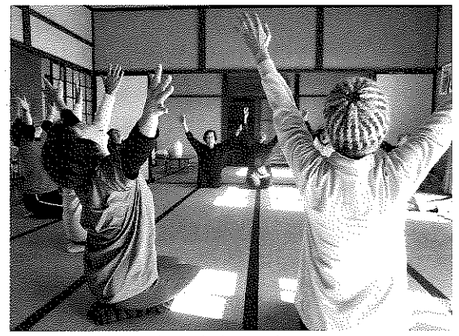
▼菊川市庁舎東館プラザきくるでは、一人でも気軽に参加できるカルチャー講座を開催している。主催する「キクルデツクル」は、ペーパークラフト作家、料理研究家、手芸作家等地元の方が講師となり、世代を超えた新たな交流の場を提供し地域活性化につなげようと活動している。
▼きっかけは、ペーパークラフト作家の塩澤代表が、自身の活動を広げる相談で菊川市民協働センターへ通う中「人材はいるのに教える人も教わる人も市外へ行っているのもったいない、市内で開講すれば双方良いはずだ」と発起し、仲間を集め令和2年に開講。コロナ禍でのスタートとなると「苦労」が頭をよぎるが、状況を見ながら少しずつ発進が出来たこと、少人数制となりかえってしっかりサポートできたと言う。
▼学校の長期休暇にあわせ、地元の講師が様々な親子で楽しめるワークショップも実施。今後は、コロナ禍で外出を控えがちな方や、外国人も含む全ての子どもたちにも、気軽に楽しめる場の提供を目指している。
◇代表：塩澤恵美さん　（問合せ・090-9186-4038）

ハロウィーン企画のクッキーづくり

【情報提供・笠原活世】

森町　ボディートークで心と体をリフレッシュ

ボディートークを楽しむ会



コロナ禍で声出しは止めている

▼「いつでもどこでも誰とでも」を合言葉に会員が自ら楽しみ、町民の健康向上を目指しているボディートークを楽しむ会は、ピンクのユニホーム姿から「森町のピンクレディー」と呼ばれている団体である。
平成17年に発足し、森町ボランティア連絡会に登録。現在会員15人。お互いの手足や体を優しくほぐしたり、動きに合わせ「ア～」「ホッホッホッ」等声を出したりして、楽しくリズミカルに体を動かすのが特徴である。
▼毎月第2月曜日には、町民の方を対象にした「楽しむ会」を実施し、たっぷり2時間リフレッシュする時間を過ごしている。コロナ禍により、1人でほぐす運動が中心になった。1人でもできる動きはたくさんあるが、早くコロナ前に行っていた２人組、３人組、複数人での動きを皆で楽しみたいと会員一同願っている。
※地域のシニア会や３世代交流会、幼稚園など要望があればどこへでも駆けつけます。
◇代表：相羽保子さん（問合せ・0538-85-3624）　【情報提供・山田勝恵】

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます（http://www.sizcom.jp ）

No.	市町	活動名	主催者	趣旨・目的	月日
1	伊東市	傾聴ボランティア養成講座の開催	傾聴ボランティア ハートピアいとう	在宅での必要な方に傾聴活動の軸足を移している。	養成講座：年1回 定例会：偶数月
2	焼津市	子どもたちの安全を守ろう	東益津小学校 安全パートナー	小学校及び公民館と連携し、安全を確保する目的で安全ボランティアを結成。	通年
3	磐田市	地域づくり・まちづくりと 子育て・青少年健全育成	NPO法人 磐田まちづくり ネットワーク	市民活動の啓発推進 、市民活動団体・行政・事業者との連携や協働のあり方について調査・研究し、まちづくりを支援。	月曜日を除く 9:00～17:30
4	浜松市	地域の皆さんに美味しいお弁当を！	なずな工房	地元産の農作物を利用しての食事作りJA遠州中央の直売所での販売。	週６回

地域訪問記

団体の継続に着目し紹介します。

笹場でGWに主催する「おおぶちお茶まつり」今年は中止です

まちなかから山林まで広範囲にわたるクリーン作戦

大淵公園での植樹作業

美しい富士山を麓から守る

大淵まちづくり協議会（富士市）

富士山頂から47㎢にわたる広大な面積を持つ富士市北東部に位置する大淵地区（約5289世帯）。茶畑越しに人工物が写らない富士山の撮影スポットとして全国から写真愛好家が訪れる「大淵笹場」が有名です。しかし、富士山の麓ゆえに不法投棄が後を絶たず、地域の悩みとなっています。2006年、富士山麓にふさわしいゴミのない、花と緑あふれる地区にしようと環境監視パトロール「クリーン作戦」を始めた大淵まちづくり協議会の会長勝亦さん、副会長の久保田さん、藤田さん、センター長の村嶋さんにお話を伺いました。

心を一つに頑張ろう・クリーン作戦

看板設置や各種団体などによる毎月の不法投棄防止パトロールに加え、毎年11月末に開催されるクリーン作戦は、大淵まちづくり協議会の大事な事業の一つ。22の町内会から1000人を超える住民が参加するほか、工業団地や学校、病院に施設周辺の清掃をお願いするなど、地区全体が心を一つにして活動をしています。

一人では手に余るゴミに「手を貸して」と声掛けする場面も多く、連帯感が生まれたり町内の方を知る機会にもなったりしています。

当日、住民は町内会ごとに決められた箇所を担当。回収場所となっている大淵公園グラウンドには、時間の経過と共に分別されたごみの山が出来上がり、待機していた市のクリーンセンターのトラックに回収され終了。昨年11月28日に開催された「第16回クリーン作戦」では、1386人が参加し1630kgのゴミを回収しました。

7,360kg→1,630kg

第1回目からの実施結果を拝見すると、この15年間で廃家電やタイヤ等が減っているのが一目瞭然。しかし、全体的な回収量は減少しても、1年後に撤去した場所や禁止看板の足元に投棄されたゴミを見つける度に「また捨てられたのかと気落ちするのも度々」と聞き、心情を察するとともに諦めず地道に活動する皆さんに頭が下がる気持ちでいっぱいになります。「不法投棄ゼロ計画」の目標を地域全体で共有し、大淵の景観を守る思いが、この活動を支えているのだと感じます。

緑とピンクの富士山裾模様

ゴミのない、花と緑あふれる地区をめざす大淵地区では、同時に「みつばつつじの里づくり」も進め「3万本植樹計画」と題し、平成19年から大淵公園や地区内への植樹に取り組んでいます。花の見頃は4月から5月。茶畑の新緑に加えてみつばつつじの淡いピンクで彩られる大淵地区仕込みの富士山の裾模様がみられる日が待ち遠しいです。

不法投棄ゼロ計画達成への道のりは、まだ遠いかもしれませんが、きれいな所にゴミは捨てにくいもの。みつばつつじの数が増えるごとにゴミの回収量が減っていったら本当に素敵ですね。

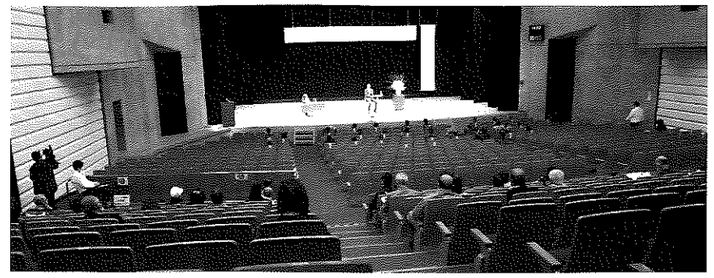
◇代表：勝亦徳明さん　　【情報提供・齋藤立己】

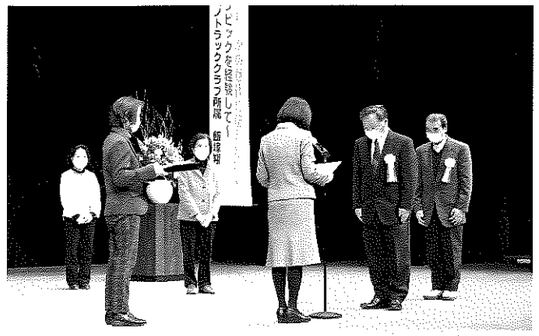
レポート：海野ふさ子 編集委員

コミュニティ・フォーラム2022を開催しました

どうやってつなぐ？大切なコミュニティ

2022年2月12日(土)
12:30～15:40
御前崎市市民会館





オミクロン株の流行に伴い次々と地域コミュニティの催しが中止となる中、当協議会も開催の可否についてギリギリまで悩みました。フォーラムは、課題解決に向けてコミュニティ活動を全県に広めていくという趣旨で開催しており、コミュニティ活動を推奨する団体として「安全に開催する為に何が出来るのか考えるべき」という思いから、今年度は時間を半日と短くし、YouTubeLive配信、会場参加は関係者と御前崎市民のみという条件で開催しました。当日は関係者を含め92人が参加し、皆で支えるコミュニティについて今私たちに何が出来るのか考えてみました。

トークショー

御前崎市出身で、オリンピック３大会に出場された飯塚翔太選手をお迎えし、オリンピックの裏話から未来ある子どもたちに地域の大人はどのように働きかけたら良いのかまで、あらゆる質問にお答えいただきました。

活動発表・ディスカッション

コミュニティ活動賞受賞の３団体と御前崎市内で活動する団体に活動に対する思いを語っていただきました。

常務のつ・ぶ・や・き（瀧常務編　最終回となります）

以前、テレビを保有しない若者に世代間ギャップを覚えた筆者であるが、最近、テレビをつける時間が少なくなった自らの変貌ぶりが可笑しくも感じる。面白そうなネーミングに釣られ「フランス人は10着しか服を持たない」という本に出合ったのがきっかけだ。

ワードローブが10着とは極端な話に思えるが、そう考える人は現代の物質主義にどっぷり浸っている人に違いない。確かに、次々と物欲を満たすことは快感だ。でも、自分の生き方に自信があれば似合うスタイルも決まってくるし、大好きな物を大切に使うことの方がよっぽど満足感が大きい。そうすれば装いや身だしなみだけでなく、日々の生活の楽しみ方まで、これまで当たり前と思っていたことが非常識に思えてくる。

テレビ番組に何時間も興じる代わりに好きな本を読む、ダイエットを気にすることなく旬の食材を美味しくいただく、休日に家でゴロゴロするより外出し文化的視野を広める、持ち物は点数ではなく質にこだわる。考えるだけで力がみなぎってくる。

サァー始めよう　質の高い豊かな生活を　コミュニティづくりを！

コミんざ家
のりづき・りえ

地域活動に関心のある方へ！ 募集します

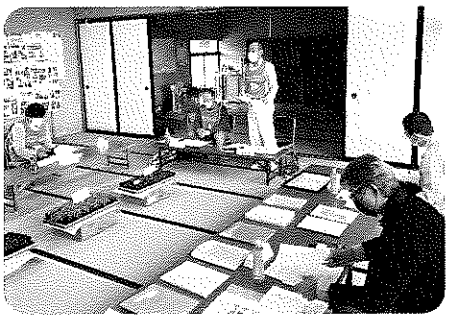
※お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ

活動資金の一部を助成します！ ★コミュニティ活動集団育成事業★

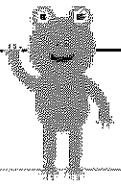
趣　旨

この事業は、人々が協力し合って住みよい地域をつくるために活動する集団を「コミュニティ活動集団」として2年間指定し、活動に必要な経費の一部を助成することによって、地域の先導的役割を担う活動集団の育成支援を行うものです。

指定の期間：毎年度4月から次年度3月までの2年間とします。
活動経費の助成：募集集団数15集団。活動経費として1集団当り、初年度7万円、翌年度3万円を助成します。
活動集団の指定：申込みに対してその内容を審査し、指定します。
募集開始：4月中旬～6月末



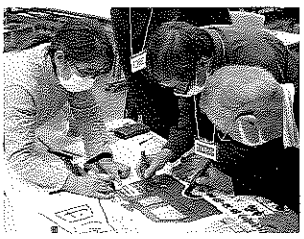
指定決定した団体には、より良い活動となるよう専門委員からのアドバイスが受けられられます。



令和3年度コミカレ修了！今後の活躍を期待します

通算42回目となるコミュニティカレッジが12月11日に終了しました。

会場参加とリモート参加のハイブリット講義で開催し、子育て中の方も参加できる利点もある反面、リモートでのワークの難しさなど課題もありました。



令和３年度は申込者29人の内23人が修了し、昭和55年からの修了者2,353人となりました。

編集・発行
地域情報をお寄せ下さい！

静岡県
コミュニティづくり推進協議会
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1−70
総合社会福祉会館3階
【TEL】054-251-3585
【FAX】054-250-8681
【URL】http://www.sizcom.jp
【E-mail】sizucom0829@po.across.or.jp

スポーツ安全保険®
文化活動も加入出来ます
対象となる事故　団体活動中の事故／往復中の事故
保険期間　令和4年4月1日の午前0時から令和5年3月31日午後12時まで
4名以上の団体・グループでご加入ください。
公益財団法人 スポーツ安全協会 静岡県支部
TEL 054-262-3039　電話受付時間　午前9時～午後5時（土、日、祝日を除く。）
保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。
ご加入はインターネットからのお手続きが便利です。
スマートフォンからもお手続きできます。
スポーツ安全保険　検索